

2026 年度

海外 TOP 大学留学

募集要項

**(国際学部国際学科 GS 専攻所属学生
のみ対象のプログラム)**

追手門学院大学

国際学部／国際連携企画課

2025 年 7 月 11 日 (ver.1)

目次

I. 海外 TOP 大学留学の概要	3
趣旨・目的.....	3
プログラム概要と派遣人数.....	3
留学期間とその取扱い.....	4
海外 TOP 大学留学に係る費用.....	5
学費及び留学に関わる費用等の支払い.....	5
奨励金制度(追手門学院大学国際学部海外 TOP 大学留学奨励金).....	5
II. 海外 TOP 大学留学への出願	6
留学の資格.....	6
出願条件.....	6
出願から内定までのスケジュール.....	7
出願受付について.....	8
審査及び選考.....	8
内定.....	8
III. 海外 TOP 大学留学内定後について	9
留学先大学への出願手続きについて.....	9
査証取得について.....	9
IV. 科目等教務上の取扱い	9
海外 TOP 大学留学期間中の本学の科目.....	9
留学先大学で修得した科目について.....	10
V. 問い合わせ先	10

I. 「海外 TOP 大学留学」の概要

趣旨・目的

国際学部「海外 TOP 大学留学」とは、国際学部 GS 専攻に在籍している優秀な学生が、世界の大学ランキングの上位に位置しているトップクラスの大学で、世界最高水準の専門教育を受けることができる学部留学プログラムです。

留学先では、リベラルアーツ学部である国際学部の利点を活かし、各連携大学が提供している多様な専門科目を受講することができます。

2025 年度時点では、追手門学院大学と連携協定を結んでいる University of Pennsylvania ペンシルバニア大学 (14 位)*、University of California, Berkeley カリフォルニア大学バークレー校 (8 位)*、The University of Melbourne メルボルン大学 (39 位)*、American University, Washington D.C. アメリカン大学 (601-800 位)*、の 4 大学への留学が可能です。*2025 年版 THE 世界大学ランキングによる

なお、本プログラムを実現するための追手門学院大学国際学部「海外 TOP 大学留学」奨励金制度の適用を受けた場合には、派遣先大学の授業料相当額が奨励金として支給されます。

プログラム概要と派遣人数

2026 年度「海外 TOP 大学留学」の派遣予定先大学は、ペンシルバニア大学、カリフォルニア大学バークレー校、メルボルン大学、アメリカン大学の 4 校です。また、本プログラムの派遣人数は若干名です。各大学のプログラム内容の概要は以下のとおりです。

留学先大学	ペンシルバニア大学
プログラム名	International Guest Student Program (IGSP)
概要	ペンシルバニア大学の一般教養及び専門教育学部 (College of Liberal and Professional Studies, LPS) の正課科目を履修するプログラムです。1 学期間に基本的に 4 科目履修します。LPS が提供する科目のほか、教養学部やビジネス・スクールなど他学部の科目にもチャレンジでき、高いレベルで専門的な学修をすることができます。履修する科目は、本学のアカデミックアドバイザーと IGSP のアドバイザーと相談しながら決定します。
留学時期	3 年秋学期
授業期間	8 月下旬～12 月下旬
出願方法	直接 IGSP へ出願

留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校
プログラム名	Summer Sessions
概要	カリフォルニア大学群の中で最大・最古を誇る大学であり、世界大学ランキングでも最上位であるバークレー校が提供するプログラムです。夏学期のみ、同大学の正規学生だけでなく、米国内の他大学の学生や留学生も正課科目が受講できる Summer Sessions プログラムを受講します。Summer Sessions では、全学部から 600 以上の科目が提供されています。世界中から集まる留学生と切磋琢磨しながら、自身が関心を持つ科目を集中的に学ぶことができます。
留学時期	3 年春学期
授業期間	5 月下旬～8 月上旬
出願方法	直接 UCB へ出願

留学先大学	メルボルン大学
プログラム名	Study Abroad and Exchange Program
概要	世界大学ランキング上位 20 位以内に入るメルボルン大学が提供するプログラムです。学期単位での留学で、現地の学生に混じって学部の科目を履修します。1300 もの科目が開講されており、1 セメスターで 3～4 科目履修することができます。オーストラリアにまつわる独自の科目や、メルボルン大学ならではのユニークな科目を学ぶことができるのも特徴の一つです。
留学時期	3 年秋学期
授業期間	7 月下旬～11 月下旬
出願方法	直接メルボルン大学へ出願

留学先大学	アメリカン大学
プログラム名	Washington Semester Program (WSP)
概要	アメリカン大学が提供するインターンシップと講義を組み合わせたプログラムを履修します。アメリカン大学は世界の政治・経済の中心地であるワシントン D.C. にあり、有名なグローバル企業や国際機関でインターンシップを行い、実際の企業活動をはじめとした政治経済の最先端を体験することができます。また、週末に開催されるハイレベルなフォーラム等にも参加できます。なお、インターンシップ先は約 4,000 社が登録されている WSP のシステムから自身で応募し面接等を通して採用される必要があります。そのための対策もプログラムの一環として提供されます。
留学時期	3 年秋学期
授業期間	8 月下旬～12 月下旬
出願方法	SAF*経由で出願

※授業期間等は 2025 年プログラムの内容であり、2026 年プログラムでは変更になる可能性があります。

※SAF とは Study Abroad Foundation の略称であり、様々な留学プログラムを提供している団体です。

留学期間とその取扱い

留学の期間は各大学が定める 1 学期間（1 セメスター）ですが、各プログラムにより実際の週数は

異なります。また、留学の期間は本学の卒業に必要な修学年限に算入されるので、4年間で本学を卒業することができます。

「海外 TOP 大学留学」に係る費用

原則として、「海外 TOP 大学留学」に関わる費用は学生が負担することになります。

留学先大学及び学生個人の状況により費用は大きく異なりますが、一般的に以下の費用が必要となります。

(1) 留学前（渡航準備中）に必要な費用

- ① 往復航空券購入代金
- ② ビザ申請のための費用（実費+代行手数料）
- ③ 本学指定の海外旅行保険（留学生保険）費用
- ④ 留学先大学や米国で指定された強制加入保険の費用
- ⑤ 予防接種、健康診断に関する費用
※留学先大学によって異なります。
- ⑥ 滞在費用、授業料以外の大学施設使用料、教材費、登録費用など
※滞在費用は現地で支払う場合もあります。
- ⑦ 留学先大学への出願料および出願時やビザ申請のために取得が必要な書類の発行手数料など
- ⑧ 学費（奨励金給付対象の場合でも、一旦学生が学費を本学に支払います。※奨励金が支給される場合には、後日、支払った学費が返納されます。）

(2) 留学中に必要な費用

- ① 食費、通学費用、アクティビティ参加費用、その他個人的な費用
- ② 寮費などの滞在費用（※前納する場合や現地で支払う場合があります）
- ③ その他、現地で支払う必要のある教材費、保険費用など

学費及び留学に関わる費用等の支払い

指定された期日までに本学の授業料並びに留学に関わる費用を支払わなければいけません。

また、学生は、学費以外に生じるその他の費用についても自己負担する必要があります。なお、追手門学院大学国際学部「海外 TOP 大学留学」奨励金の給付対象者とされた場合、留学先大学の学費は指定された期日までに本人が支払った上で、後日、追手門学院大学が奨励金（学費相当額）を支給します。

奨励金制度(追手門学院大学国際学部「海外 TOP 大学留学」奨励金)

追手門学院大学国際学部「海外 TOP 大学留学」奨励金（以下、奨励金）は、より優秀な学生を多く育成するために、国際学部がカリキュラム上設ける「海外 TOP 大学留学」プログラムに参加する学生を対象に、留学先大学の学費相当額を給付することを目的とした奨励金制度です。但し、制度上、一

且は学生が学費相当額を日本円で本学に支払う必要があります。

給付される学生は、「海外 TOP 大学留学」出願後に国際学部長との面接の上、学長が最終決定します。面接の日時は後日教務課から連絡があります。なお、本奨励金と他の奨学金等との重複受給は可能ですが、受給しようとしている、または既に受給中の奨学金制度が重複受給可能かどうかは自身で確認する必要があります。

II. 「海外 TOP 大学留学」への出願

留学の資格

「海外 TOP 大学留学」制度では、下記出願の資格を満たすとともに、次に説明する留学先大学ごとに定められた出願条件を満たした学生のみが出願し、選考結果に基づき留学の許可を得ることができます。なお、**国際学部国際学科グローバルスタディーズ専攻学生のみ出願資格があり、国際文化専攻学生は対象外**です。

留学の資格は以下のとおりです。

- (1) 学業成績、出席状況、人物すべてにおいて優秀であること
- (2) 十分な学修能力と意欲を有していること
- (3) 心身ともに留学に耐えうる健康状態を維持していること
- (4) 所属する学科が定める留学までに必要な科目を履修している、又は、履修予定であること
- (5) 別に定める誓約事項に同意すること
- (6) その他本学部が必要と判断することを満たしていること

また、出願時に資格を満たしている場合であっても、後日出願資格を満たさないことが判明した場合には欠格と判断され、選考や派遣を中止する場合があります。

このほか、国際学部の留学制度上、原則として**2年次に出願し、3年次に留学**することになります。

出願条件

原則として留学先大学が定める成績基準及び語学基準を満たし、それを指定された方法で証明してください。2025年に実施されているプログラムでの出願条件は下記のとおりです。なお、**2026年度**のプログラムでは条件が変更されたり追加されたりする可能性があります。そのため、学内での選考を通過しても、留学先大学への出願時には要件を満たせない場合があることに留意し、より高いスコアや成績等を取得するよう努力してください。

語学要件については、ペンシルバニア大学・メルボルン大学・アメリカン大学では TOEIC が対象外となっています。**学内応募時に、希望する大学の語学要件を満たしていることが求められます。**留学先大学への出願時に、過去2年以内の語学検定試験結果が必要となることから、学内応募時から遡って原則1年半以内の語学検定試験結果を提出してください。

成績要件については、2025 年春学期までの通算 GPA が対象です。

留学先大学	プログラム名	語学要件	成績要件
ペンシルバニア大学	International Guest Student Program (IGSP)	TOEFL iBT 100 IELTS 7.0 Duolingo 130	通算 GPA3.3
カリフォルニア大学 バークレー校	Summer Sessions	TOEFL iBT 80 IELTS 6.5 Duolingo 115 TOEIC L&R 685※	通算 GPA3.0
メルボルン大学	Exchange and Study Abroad Program	TOEFL iBT 79 (Writing 21 以上、Speaking 18 以上、Reading と Listening 13 以上) IELTS 6.5 (各セクション 6.0 以上)	通算 GPA3.0
アメリカン大学	Washington Semester Program (WSP)	TOEFL iBT 85 (Speaking と Listening は 20 以上) IELTS 6.5 (各セクション 6.0 以上) Duolingo 120 (各セクション 110 以上)	通算 GPA3.0

※TOEIC 公式スコアが必要です。大学や国際学部で受験する TOEIC IP は対象外です。

出願から内定までのスケジュール

原則として、指定されたスケジュール・方法以外での選考は一切行われません。そのため、学生自身の責任において、出願や審査のための日程を確保してください。

事項	日程
「海外 TOP 大学留学」説明会	2025 年 10 月（総持寺キャンパス）
出願期間	2025 年 10 月 1 日（水）～11 月 28 日（金）23：59
面接審査	2025 年 12 月上旬
留学内定者発表	2025 年 12 月下旬
内定者向けオリエンテーション	2026 年 1 月上旬

（注）希望者には、留学先大学（WSP についてはアメリカン大学ではなく申請先の SAF）からの直接説明および質疑応答の機会を設けますので、**2025 年 9 月 19 日（金）**までに Student Support に申し出てください。その後、希望者と留学先大学の日程調整を行い実施しますが、先方の都合等により実施できない可能性もあります。

出願受付について

(1) 出願期間

2025年10月1日(水)～2025年11月28日(金) 23:59

(2) 出願書類

① 「海外 TOP 大学留学」計画書(指定様式)

② 語学検定試験成績証明書の写し

※希望する大学で指定されている語学検定試験結果

※出願時より1年半以内の受験結果を提示することが求められます

(3) 出願方法

(2)の書類を準備し、出願期間内に**Canvas**で設問に回答の上、提出してください。受理された書類について、不備または不足がある場合には教務課から連絡がありますので、指定された期間に修正もしくは追加提出等の指示に従ってください。指定された期間に修正もしくは追加提出等の指示に従い出願書類を完成できない場合には、出願書類の受理が取り消されますので注意してください。

審査及び選考

審査は提出された書類と面接選考の結果に基づき実施されます。本章1.「留学の資格」に記載された項目に照らして、総合的に審査・選考されます。

内定

審査結果に基づき国際学部会議で審議が行われ、内定者及びそれぞれの留学先大学が決定されます。

出願書類に記載された希望順位を考慮して留学先大学を決定しますが、第一希望ではない大学に割り当てられる場合もあります。その場合、内定を受理するかどうかについて教務課から打診があるので、検討した上で回答してください。

なお、ここでいう内定は、本学内の選考において「海外 TOP 大学留学」制度のもと留学先大学への出願を許可することをいいます。内定者に希望大学への留学を保証するものではないことに注意してください。内定者は、内定後に留学先大学へ出願して入学許可を得る必要があり、留学先大学による入学審査や試験の結果、入学が許可されない場合もあります。

選考の結果対象外となった場合も、認定留学の制度を利用して、3大学の留学プログラムに自ら応募して参加することは可能です。その場合は、留学にかかる費用は全額が自己負担となります。認定留学については「認定留学募集要項」を参照の上、Student Supportに相談してください。

III. 「海外 TOP 大学留学」内定後について

留学先大学への出願手続きについて

各大学で出願手続きの方法や時期、内容は異なります。本学の指示に従い留学先大学への出願を開始してください。原則として、留学先大学との連絡を含む出願手続きは内定者本人が行うことになります。

- (1) 出願手続きの後、留学先大学により入学のための審査が行われ、本学の「海外 TOP 大学留学」内定者を受入れるか否かの最終判断が行われます。
- (2) 留学先大学から入学許可が下りた後、留学に必要な査証取得・住居手配・費用支払い・その他必要な手続きは、留学先大学と密に連絡を取り、自らの責任で手配を進める必要があります。入学許可が下りている場合でも、その他の手続きが完了していない場合、留学ができなくなるので注意してください。旅券申請など費用が発生する作業が内定前に発生する可能性があります。選考の結果、内定しない場合にも発生した費用は出願者本人の負担となります。

査証（ビザ）取得について

米国の査証（ビザ）を取得できるかどうかは、米国政府や在日米国大使館及び総領事館の判断によります。多くの実績を持つ査証取得代行業者を通して申請し、本学からも大使館や総領事館宛てのレターを送付すること等により査証取得の支援を行います。それでも、特に学士号取得を目指して日本の大学に在籍している外国人留学生が、日本から米国へ留学するケースでは、一般的に、より厳格な査証審査が行われるので、査証不支給となることもあります。

その場合、留学が中止されるとともに、それまでに発生した費用は全て出願者本人の負担となります。

IV. 科目等教務上の取扱い

「海外 TOP 大学留学」期間中の本学の科目

「海外 TOP 大学留学」期間中に本学で単位を修得する方法として、認定科目という制度があります。「大学が認めた留学生専用科目」として国際学部の学科科目に設けてある以下の科目を教務課で履修登録の手続きを行います。ただし、下記認定科目は、派遣交換留学や認定留学の制度で認定される科目と同様であるため、すでに認定されている学生、または「海外 TOP 大学留学」後に派遣交換留学等の制度で留学した場合は、同一科目名で認定することはできません。認定科目は、留学中の学びの内容・学びの成果等を総合的に評価して、単位が認定されます。

対応学期	学科科目	認定上限単位
秋学期 春学期 共通	国際コミュニケーション論 (4 単位)	20 単位
	国際事情 (4 単位)	
	国際特別演習 (4 単位)	
	国際表現演習 (4 単位)	
	国際体験 II(4 単位)	

留学先大学で修得した科目について

留学先大学で留学期間中に修得した科目の単位は、本学学則第 24 条の定めるところにより、本学の単位として読み替えを申請することができます。読み替えに必要な手続きについては、内定後のオリエンテーションで詳細を説明します。

なお、単位の認定には、留学先大学の成績書原本や学修成果物の提出などが必要ですので、書類等の入手時期及び審査の時期によって、次学期以降の単位認定となることがあります。

V. 問い合わせ先

※原則 OIDAI サポートデスクより問い合わせを行ってください。

■「海外 TOP 大学留学」制度や国際学部カリキュラム等に関する問い合わせ
教務課（総持寺キャンパス アカデミックアーク 1 階 A171）国際学部担当

■留学先情報・海外渡航に関する問い合わせ
Student Support（総持寺キャンパス アカデミックアーク 1 階）

参考資料 1

各大学・プログラム・費用等のリンク集

■University of Pennsylvania - IGSP

Curriculum :

<https://www.lps.upenn.edu/non-degree-programs/igsp/curriculum>

Student Handbook :

<https://www.lps.upenn.edu/sites/default/files/2023-05/IGSP-Student-Handbook-2023-2024.pdf>

Application Overview :

[Application Overview | Penn LPS \(upenn.edu\)](#)

■American University - WSP

プログラムについて :

<https://japan.studyabroadfoundation.org/programs/washington-semester-internship-program#about-program>

出願の手引き :

https://japan.studyabroadfoundation.org/sites/default/files/2023-02/2023F_application_guide_0201.pdf

概算費用 :

https://japan.studyabroadfoundation.org/sites/default/files/2024-08/SAF_Japan_Program_Fees_US.pdf

Washington Semester International Non-Credit Program :

<https://www.american.edu/provost/ogis/washington-semester-program/international-student-program.cfm>

Coursework :

<https://www.american.edu/washington-semester-program/engaging-courses.cfm>

■University of California Berkeley – Summer Sessions

Catalogue :

https://summer.berkeley.edu/sites/default/files/Catalog_SS_Intl_Visitors_2023.pdf

Classes :

<https://classes.berkeley.edu/>

Checklist :

<https://summer.berkeley.edu/international/international-checklist>

Fees :

<https://summer.berkeley.edu/international/registration-fees>

■The University of Melbourne – Exchange and Study Abroad Program

Program :

<https://indd.adobe.com/view/7f8ee440-b4c8-4766-b765-50c129d3367e>

Handbook :

<https://handbook.unimelb.edu.au/search>

Applications :

<https://study.unimelb.edu.au/how-to-apply/international-exchange-and-study-abroad-applications/applications>

参考資料 2

留学計画書書式

(Canvas 上で Word 版を配布しています)

追手門学院大学国際学部

「海外 TOP 大学留学」計画書(2026 年度実施)

*すべて英語で記入すること。(Fill in each blank in English.)

出願者 (Applicant)
氏名 (英語表記) Name (English) :
*パスポートに記載の氏名を記すこと (Full name as it appears on your passport)
学生番号 (Student ID No.) :
連絡先 (Your Contact Information)
Tel:
E-mail:
アカデミックアドバイザーの氏名 (Name of Your Academic Supervisor)

このプログラムに応募する理由を記してください。(Please describe your reasons for applying to this program.)

- 応募の動機は何ですか？ (Why would you like to apply for this program?)
- 留学する目的は何ですか？ (What is your purpose of studying abroad?)
- このプログラムを通して何のスキルを向上させたいですか？ (What skills do you hope to develop through this program?)
- 自分自身に関して他に知らせておきたいことはありますか？ (Is there anything else you would like us to know about yourself?)

留学先大学での学び・研究的興味の詳細 (General description of your study and research interests at the university that you apply for.)

- 留学先大学で 1 セメスターを過ごすことでどの程度まであなたの学び・研究的興味が高まるかを説明してください。(Explain how your study and research interests will be enhanced by spending a semester at the university that you apply for.)

留学先大学での学びの概要 (Outline of your specific study and research plans at the university that you apply for.)

取る予定の科目やコースをリストにして示してください。合わせて、いずれの学びに最も関心があるか、それはなぜかを記してください。(Please list the courses you intend to take, and which research groups interest you the most, and why.)

自分が選ばれる理由 (Why should you be selected?)

このプログラムの参加者に自分が選ばれる理由を記してください。(Please let us know why you should be admitted to this program.)